

2020年3月期 第3四半期 決算短信〔米国基準〕(連結)



2020年2月6日

上場会社名 **富士フイルムホールディングス株式会社**

上場取引所 東

コード番号 4901 URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>

代 表 者 代表取締役社長 助野 健児
 問合せ先責任者 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室長 吉澤 ちさと TEL (03)6271-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期 第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 四半期純利益		当社株主帰属 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期 第3四半期	1,728,397	△ 4.0	151,635	△ 4.2	166,530	7.7	120,658	19.4
2019年3月期 第3四半期	1,799,816	△ 0.5	158,347	28.6	154,565	△ 11.4	101,052	△ 18.8

(注) 四半期包括利益 2020年3月期 第3四半期 120,352 百万円 (0.1 %) 2019年3月期 第3四半期 120,200 百万円 (△ 33.1 %)

	基本的1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益		希薄化後1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期 第3四半期	294	76	293	84
2019年3月期 第3四半期	236	96	236	25

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期 第3四半期	3,450,897	2,095,446	2,055,894	59.6
2019年3月期	3,414,692	2,244,841	2,036,963	59.7

(注) 資本合計(純資産)は、P.9の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
2019年3月期	-		40	00	-		40	00	80	00
2020年3月期	-		47	50	-					
2020年3月期(予想)							47	50	95	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 当期純利益		当社株主帰属 当期純利益		1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,370,000	△ 2.5	220,000	4.8	230,000	8.1	165,000	19.5	403	04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2019年12月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	514,625,728 株	2019年3月期	514,625,728 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	105,238,856 株	2019年3月期	105,340,377 株
------------	---------------	----------	---------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	409,348,775 株	2019年3月期3Q	426,460,101 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 5
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 7
4.	四半期連結財務諸表	P. 8
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 8
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 10
	(四半期連結損益計算書)	P. 10
	【第3四半期連結累計期間】	P. 10
	【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】	P. 11
	(四半期連結包括利益計算書)	P. 12
	【第3四半期連結累計期間】	P. 12
	【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】	P. 12
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
	(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
	(セグメント情報)	P. 14
	1) 第3四半期連結累計期間	P. 14
	2) 第3四半期連結会計期間(3ヶ月)	P. 16
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2020年3月期 第3四半期累計		2019年3月期 第3四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	42.3%	7,305	40.3%	7,247	58	0.8%
海外売上高	57.7%	9,979	59.7%	10,751	△772	△7.2%
売上高	100.0%	17,284	100.0%	17,998	△714	△4.0%
営業利益	8.8%	1,516	8.8%	1,583	△67	△4.2%
税金等調整前四半期純利益	9.6%	1,665	8.6%	1,546	119	7.7%
当社株主帰属四半期純利益	7.0%	1,207	5.6%	1,011	196	19.4%
為替レート (円/米\$)		109円		111円	△2円	
為替レート (円/Euro)		121円		129円	△8円	

2020年3月期第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)の世界経済を概観すると、米国の景気は、個人消費や政府支出が増加し、着実に回復が継続しました。欧州の景気は、一部に弱さがみられるものの、消費は緩やかながら増加し、回復基調が継続しました。アジア地域については、中国では、製造業を中心に一段と弱い動きが見られ、景気は緩やかに減速しています。その他アジア地域は、景気回復は緩やかになっています。日本では、個人消費が消費増税などの影響を受け、一時的に減少しました。

当社グループは、コア事業であった写真フィルムの需要が激減した2000年以降、事業構造の転換を積極的に進め、安定的に利益を創出できる経営基盤を構築し、新たな成長フェーズに入りました。2017年8月に2030年度を目標とした新CSR計画「サステナブルバリュープラン(Sustainable Value Plan)2030」(以下、「SVP2030」)を策定。革新的技術・製品・サービスの提供など、事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、サステナブル社会の実現に貢献する企業であり続けます。また、「SVP2030」で示した目指す姿を実現するための具体的なアクションプランとして、中期経営計画「VISION2019」を策定。それぞれの事業を「収益力の向上」「さらなる成長の加速」「未来を創る投資」の3つのステージに位置づけ、成長過程に合わせた施策を適切に展開することにより、個々の事業の収益力のさらなる強化を図ることで、事業ポートフォリオをより強固なものにし、一層の飛躍へとつなげていきます。

2020年3月期は、米中貿易摩擦、欧州における英国のEU離脱や、中国をはじめとした新興国経済の動向、北朝鮮や中東情勢などの地政学的リスクなど、先行きの見えない不安定な状況が続くことが予想されますが、当社は各事業のさらなる収益力の向上で安定的にキャッシュを創出するとともに、特に「ヘルスケア・高機能材料領域の事業成長の加速」と「ドキュメント事業の抜本的強化」を実現することで、事業ポートフォリオをより強固なものにしていきます。

当社グループの2020年3月期第3四半期連結累計期間における連結売上高は、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業などで売上を伸ばしましたが、フォトイメージング事業、光学・電子映像事業、ドキュメント事業の売上減少などにより1兆7,284億円(前年同期比4.0%減)となりました。

営業利益は、1,516億円(前年同期比4.2%減)となりました。税金等調整前四半期純利益は1,665億円(前年同期比7.7%増)、当社株主帰属四半期純利益は1,207億円(前年同期比19.4%増)となりました。当四半期の円為替レートは、対米ドルで109円、対ユーロで121円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2020年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
イメージングソリューション	2,661	3,038	△377	△12.4%
ヘルスケア&マテリアルズソリューション	7,412	7,589	△177	△2.3%
ドキュメントソリューション	7,211	7,371	△160	△2.2%
連結合計	17,284	17,998	△714	△4.0%

【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	2020年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
イメージングソリューション	274	480	△206	△42.8%
ヘルスケア&マテリアルズソリューション	708	700	8	1.1%
ドキュメントソリューション	805	669	136	20.3%
全社費用及び セグメント間取引消去	△271	△266	△5	-
連結合計	1,516	1,583	△67	△4.2%

「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、2,661億円（前年同期比12.4%減）となりました。

当部門の営業利益は、274億円（前年同期比42.8%減）となりました。

フォトイメージング事業では、カラーペーパーの販売減などの影響により売上は減少しました。撮影したその場で写真をプリントして楽しめるインスタントフォトシステムでは、2019年6月に発売したハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay(インスタックス ミニ リプレイ)」や、2019年10月に発売した、スマートフォンで撮影した画像をチェキプリントにできるスマートフォン用プリンター「instax mini Link」などの販売を通じて、スマートフォンからのプリント需要のさらなる拡大に取り組んでいます。また、2019年11月に黑白フィルム「ネオパン100 ACROS II」を発売。黑白フィルム独特の風合いを好むフィルム愛好家を中心に支持を得ています。今後も“アナログからデジタルまで”幅広い分野において多様化するお客さまのニーズにお応えし、より良い製品・サービスを提供し続けます。

光学・電子映像事業の電子映像分野では、デジタルカメラのエントリーモデルの販売減などにより売上は減少しました。2019年6月に発売した、世界最高1億2百万画素のラージフォーマットセンサーを搭載したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100」や、「X シリーズ」のフラッグシップモデルとして、2019年11月に発売したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-Pro3」の販売は堅調に推移しました。

光学デバイス分野では、主に中国景気の減速による車載レンズなど産業用レンズの需要減の影響を受け、売上は減少しました。独自の二軸回転レンズで投写の自由度を広げる新プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」や、2020年3月より販売開始予定の、世界で初めて*AF機能を搭載した4K対応放送用レンズ「FUJINON UA107×8.4BESM AF」など、事業成長に向けた新製品の展開を強化していきます。

*4K対応放送用レンズとして。2019年11月13日時点。当社調べ。

「ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門」

ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門の連結売上高は、7,412億円（前年同期比2.3%減）となりました。

当部門の営業利益は、708億円（前年同期比1.1%増）となりました。

メディカルシステム事業では、医療IT、内視鏡、体外診断(IVD)などの分野で販売が堅調に推移し、売上が増加しました。X線画像診断分野では、デジタルマンモグラフィシステムの販売が、主要市場

である西欧に加え、ロシアや中南米等の新興国で大型入札を獲得するなど好調に推移しました。医療IT分野では、医用画像情報システム(PACS)「SYNAPSE」を中心としたシステムの販売が日本を中心に好調に推移し、売上が増加しました。内視鏡分野では、特殊光観察が可能な7000システムなどの販売が好調に推移しました。超音波診断分野では、中国市場で携帯型超音波画像診断装置「SonoSite Edge II」やフルフラット型超音波画像診断装置「SonoSite S II」などの販売が好調に推移しました。また、日本市場では、手のひらに収まるコンパクトさと高画質を実現したワイヤレス超音波画像診断装置「iViz air(アイビズ エア)」の販売を2019年12月に開始しました。体外診断(IVD)分野は、血液検査システム「ドライケムシリーズ」の販売や、国内動物向け受託検査が好調に推移しました。また、2019年12月に日立製作所の画像診断関連事業の買収を発表しました。本買収により、これまで以上に質の高い豊富なソリューションを提供し、医療の質の向上に向けて先進的な役割を果たすとともに、世界屈指の「ヘルスケア・カンパニー」としての事業基盤を確立します。なお、買収完了は、所要の競争法規制当局のクリアランスの取得等を条件とし、2020年7月を予定しています。本件が2020年3月期の連結業績に与える影響はありません。

医薬品事業では、収益性の改善を目的にジェネリック医薬品販売を縮小したことなどにより、売上は減少しました。2019年12月より、軽度認知障害および軽度アルツハイマー型認知症を対象としたアルツハイマー型認知症治療薬「T-817MA」の臨床第II相試験を欧州で開始しました。また、ドラッグ・デリバリー・システム技術の一つであり、薬剤を選択的に送達し薬効を高めるリポソーム製剤専用の新工場が竣工しました。2020年2月の稼働を予定しています。アンメットメディカルニーズが高い「がん」「中枢神経疾患」「感染症」領域で新薬開発を積極的に推進し、革新的かつ高付加価値の医薬品を創出することで、社会課題の解決に貢献していきます。

バイオCDMO事業では、バイオ医薬品のプロセス開発受託、及び製造受託が好調に推移し、売上が増加しました。2019年11月に、本事業の重点領域の一つである遺伝子治療分野の開発・製造設備に総額約130億円を投資することを発表しました。プロセス開発棟の開設は2021年秋、増設した製造設備の稼働は2021年春以降を予定しています。今後、最先端医療の遺伝子治療分野においても、生産プロセス開発から製造まで一貫して受託できる強みを活かして、更なるビジネス拡大を図っていきます。

再生医療事業では、当社米国子会社のFUJIFILM Irvine Scientific, Inc.が展開するバイオ医薬品向けの培地販売が好調に推移し、売上が増加しました。また、当社米国子会社のFUJIFILM Cellular Dynamics, Inc.が展開する、iPS細胞を用いた創薬支援事業も好調に推移しました。今後も富士フイルムグループ各社の技術・ノウハウを活用し、再生医療の早期産業化に貢献していきます。

ライフサイエンス事業では、リニューアル発売したジェリー状先行美容液「ASTALIFT JELLY AQUARISTA(アスタリフト ジェリー アクアリスタ)」や、サプリメント「メタバリア EX」などの販売が好調に推移しました。また、2019年11月に男性用化粧品市場に参入しました。今後もお客様のニーズをとらえた独自性の高い製品を提供し、人々の美容と健康に貢献していきます。

ディスプレイ材料事業では、パネルメーカーの生産調整や「WVフィルム」の需要減などの影響を受け、全体の売上は減少しましたが、有機EL向けの製品販売が堅調に推移しました。

産業機材事業では、タッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売が顧客の在庫調整の影響を受けたことなどにより、全体の売上は減少しましたが、非破壊検査用機器の販売が堅調に推移しました。

電子材料事業では、先端フォトリソ周辺材料において半導体市場の低迷、イメージセンサー用カラーレジストにおいて一部顧客における在庫調整の影響を受けたものの、CMPスラリーなどの販売が引き続き堅調に推移し、売上が前年並みとなりました。

ファインケミカル事業では、ライフサイエンス分野における試薬販売が堅調に推移し、売上が前年並みとなりました。

記録メディア事業では、2019年9月に発売した、最大記録容量30TBを実現したデータストレージ用磁気テープ「FUJIFILM LTO Ultrium8 データカートリッジ」の販売が好調に推移し、売上が増加しました。今後も「BaFe(バリウムフェライト)磁性体」などの独自技術を使用したデータストレージ用磁気テープの拡販や、データアーカイブサービスを提供し、ビッグデータ時代の顧客ニーズに確実に対応していきます。

グラフィックシステム事業では、刷版材料の需要減などの影響を受け、売上が減少しました。刷版材料分野では、無処理CTPプレートを中心とした環境対応品の拡販を推進します。デジタル印刷分野

では、2019年3月に販売を開始した、商業印刷向けインクジェットデジタルプレス「Jet Press」シリーズの新ラインアップ「Jet Press 750S」を中心に、デジタル化が進む商業印刷及びパッケージ印刷市場に対して、今後も画期的な製品を開発・提供し、事業成長を図っていきます。

インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売が中国景気の減速などによる需要減の影響を受け、売上が減少しました。2019年11月より、商業印刷やパッケージ印刷向け産業用シングルパスインクジェット印刷装置の製品化に必要な基幹部品やソフトウェアなどのインクジェットコンポーネントを「Samba(サンバ) JPC」として販売開始しました。用途が拡大する産業用インクジェット市場に対して今後も画期的な製品を開発・提供し、さまざまな産業の発展に貢献していきます。

「ドキュメント ソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の売上高は7,211億円（前年同期比2.2%減）となりました。

当部門の営業利益は、業務改革による収益性の改善に加えて、国内販売が好調に推移したことにより805億円（前年同期比20.3%増）となりました。

オフィスプロダクト&プリンター事業のオフィスプロダクト分野では、欧米向け輸出の減少などにより全体の販売台数は対前年で減少しましたが、国内では主力のカラー複合機の販売が好調に推移しました。

プロダクションサービス事業では、基幹システム向けプリンターの販売が減少したものの、カラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press」の販売が引き続き好調に推移したことと、国内のDTP（Desktop publishing）向けカラー機も販売が好調で、全体の販売台数は対前年で増加しました。

ソリューション&サービス事業では、オーストラリアで獲得した大型BPO（Business Process Outsourcing）契約に加え、オフィスのIT環境の設計・導入・運用・管理をサポートする役務サービスの販売が堅調に推移し、全体の売上が増加しました。今後も、新しいサービスメニューを順次提供することで、お客様の多様化する働き方を支援していくと共に、サービス領域での更なる成長を目指します。

なお、当社は2019年11月に、ゼロックスコーポレーションが保有する富士ゼロックス株式会社の株式の全てを取得し、完全子会社化しました。完全子会社化によって、富士フイルムグループ内でのフレキシブルな人的交流や、これまでよりさらに一歩進んだ技術の共有、協働により成長市場への事業拡大を進め、お客様課題への対応力を一層高めていきます。また、新たにプリンターエンジンなどのワールドワイドなOEM供給の開始により収益機会を拡大させつつ、ゼロックスコーポレーションへは従来通り製品の安定供給を継続し、キャッシュの創出力を高めます。

(2) 財政状態に関する説明

2020年3月期第3四半期末は、有形固定資産の増加などにより、前期末(2019年3月31日)に比べ、資産合計が362億円増の3兆4,509億円となりました。負債は社債及び借入金増加などにより、1,856億円増の1兆3,555億円となりました。株主資本は189億円増の2兆559億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ49.0ポイント減の197.5%、負債比率は8.5ポイント増の65.9%、株主資本比率は0.1ポイント減の59.6%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	2020年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,624	1,436	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,024	△1,594	△430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,500	△1,031	△469

2020年3月期第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,624億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、事業の買収

などにより、2,024億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、△400億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分との資本取引などにより、1,500億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の2020年3月期第3四半期末残高は、前期末(2019年3月31日)に比べ1,972億円減少し、4,575億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期業績は、中国景気減速影響などを考慮し、売上高を下方修正します。営業利益及び税金等調整前当期純利益は、減収による減益により下方修正します。当社株主帰属当期純利益は上方修正します。

なお、ドキュメント事業において、構造改革等の一時費用として100億円、構造改革の効果として180億円を見込んでおります。

通期での対米ドル円為替レートを109円、対ユーロ円為替レートを121円で想定しております。

(単位:百万円)

	前回発表予想(A) (2019年11月12日 発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績 (2019年3月期)
売上高	2,435,000	2,370,000	△65,000	△2.7%	2,431,489
営業利益	240,000	220,000	△20,000	△8.3%	209,827
税金等調整前 当期純利益	245,000	230,000	△15,000	△6.1%	212,762
当社株主帰属 当期純利益	162,000	165,000	3,000	1.9%	138,106
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	395.72円	403.04円	7.32円	1.8%	326.81円

注)「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では2019年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を、今回修正予想では2019年12月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)をそれぞれ使用しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

2016年2月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート2016-02「リース」を発行しました。当基準が規定する基準書842は、基準書840を置き換えるものであります。当基準は、リースの借手に対してリース負債と使用権資産を貸借対照表上に認識することを規定しております。また、当基準は、リースについての定性的及び定量的な開示を要求しております。当基準は、2018年12月15日より後に始まる連結会計年度(期中会計期間を含む)から適用され、早期適用は認められております。当社においては2019年4月1日から始まる連結会計年度から適用しております。当基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しておりますため、比較情報である前連結会計年度については再表示しておらず、基準書840に基づき報告しております。

当社は、基準適用日にすでに終了している又は存在する契約に対し、リースに該当するか否か、リ

ースの分類、当初直接コストの再評価をしない実務上の便法、および基準適用日にすでに終了している又は存在する借地権のうちリースとして会計処理されていなかった部分がリースに該当するか否かの再評価をしない実務上の便法を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結会計期間末 2019年12月31日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2019年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		457,523	654,747	△ 197,224
受取債権				
営業債権		539,167	580,423	△ 41,256
リース債権		55,596	58,857	△ 3,261
関連会社等に対する債権		2,229	5,634	△ 3,405
貸倒引当金		△ 25,398	△ 27,119	1,721
		571,594	617,795	△ 46,201
棚卸資産		411,329	374,456	36,873
前払費用及びその他の流動資産		153,524	83,908	69,616
流動資産 合計		1,593,970	1,730,906	△ 136,936
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		25,850	33,445	△ 7,595
投資有価証券		110,374	105,678	4,696
長期リース債権		61,755	72,814	△ 11,059
その他の長期債権		36,796	31,509	5,287
貸倒引当金		△ 3,242	△ 3,754	512
投資及び長期債権 合計		231,533	239,692	△ 8,159
有形固定資産				
土地		97,768	98,211	△ 443
建物及び構築物		729,478	690,207	39,271
機械装置及びその他の有形固定資産		1,490,007	1,447,115	42,892
建設仮勘定		47,267	36,420	10,847
		2,364,520	2,271,953	92,567
減価償却累計額		△ 1,770,743	△ 1,745,156	△ 25,587
有形固定資産 合計		593,777	526,797	66,980
その他の資産				
オペレーティング・リース使用权資産		77,759	-	77,759
営業権		695,007	655,508	39,499
その他の無形固定資産		146,326	145,013	1,313
その他		112,525	116,776	△ 4,251
その他の資産 合計		1,031,617	917,297	114,320
資産 合計		3,450,897	3,414,692	36,205

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結会計期間末 2019年12月31日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2019年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		274,281	170,579	103,702
支払債務				
営業債務		215,807	210,658	5,149
設備関係債務		18,491	25,758	△ 7,267
関連会社等に対する債務		1,640	1,940	△ 300
		235,938	238,356	△ 2,418
未払法人税等		19,367	18,950	417
未払費用		165,659	182,833	△ 17,174
短期オペレーティング・リース負債		24,326	-	24,326
その他の流動負債		87,617	91,567	△ 3,950
流動負債 合計		807,188	702,285	104,903
固定負債				
社債及び長期借入金		389,081	353,533	35,548
退職給付引当金		29,937	40,335	△ 10,398
長期オペレーティング・リース負債		54,310	-	54,310
その他の固定負債		74,935	73,698	1,237
固定負債 合計		548,263	467,566	80,697
負債 合計		1,355,451	1,169,851	185,600
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
資本剰余金		-	24,494	△ 24,494
利益剰余金		2,577,873	2,507,719	70,154
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 127,738	△ 100,593	△ 27,145
自己株式		△ 434,604	△ 435,020	416
株主資本 合計		2,055,894	2,036,963	18,931
非支配持分		39,552	207,878	△ 168,326
純資産 合計		2,095,446	2,244,841	△ 149,395
負債・純資産 合計		3,450,897	3,414,692	36,205

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	2019年12月31日現在	2019年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	△ 9	△ 2	△ 7
為替換算調整額	△ 13,218	2,112	△ 15,330
年金負債調整額	△ 114,558	△ 102,463	△ 12,095
デリバティブ未実現損益	47	△ 240	287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第3四半期連結累計期間】

単位:百万円

科目	期別		2020年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		2019年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日		増減 (△は減少)	
							増減額	増減率
	%		%					%
売上高	100.0	1,728,397	100.0	1,799,816	△ 71,419	△ 4.0		
売上原価	58.2	1,005,332	58.1	1,045,376	△ 40,044	△ 3.8		
売上総利益	41.8	723,065	41.9	754,440	△ 31,375	△ 4.2		
営業費用								
販売費及び一般管理費	26.2	453,434	26.7	480,288	△ 26,854	△ 5.6		
研究開発費	6.8	117,996	6.4	115,805	2,191	1.9		
営業利益	33.0	571,430	33.1	596,093	△ 24,663	△ 4.1		
	8.8	151,635	8.8	158,347	△ 6,712	△ 4.2		
営業外収益及び費用(△)								
受取利息及び配当金		4,217		4,054	163			
支払利息		△ 1,931		△ 2,813	882			
為替差損益・純額		△ 1,580		△ 2,540	960			
持分証券に関する損益・純額		1,990		△ 5,437	7,427			
その他損益・純額		12,199		2,954	9,245			
税金等調整前四半期純利益	0.8	14,895	△ 0.2	△ 3,782	18,677	-		
	9.6	166,530	8.6	154,565	11,965	7.7		
法人税等	1.9	33,041	2.2	38,848	△ 5,807	△ 14.9		
持分法による投資損益	△ 0.0	△ 38	△ 0.0	△ 1,329	1,291	△ 97.1		
四半期純利益	7.7	133,451	6.4	114,388	19,063	16.7		
控除:非支配持分帰属損益	△ 0.7	△ 12,793	△ 0.8	△ 13,336	543	△ 4.1		
当社株主帰属四半期純利益	7.0	120,658	5.6	101,052	19,606	19.4		

【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結会計期間		2019年3月期第3四半期 連結会計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年10月 1日 至 2019年12月31日		自 2018年10月 1日 至 2018年12月31日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高		100.0	596,263	100.0	627,073	△ 30,810	△ 4.9
売上原価		58.2	346,782	57.3	359,540	△ 12,758	△ 3.5
売上総利益		41.8	249,481	42.7	267,533	△ 18,052	△ 6.7
営業費用							
販売費及び一般管理費		25.4	151,573	25.0	156,799	△ 5,226	△ 3.3
研究開発費		6.4	38,312	5.8	36,317	1,995	5.5
		31.8	189,885	30.8	193,116	△ 3,231	△ 1.7
営業利益		10.0	59,596	11.9	74,417	△ 14,821	△ 19.9
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			1,545		1,349	196	
支払利息			△ 555		△ 877	322	
為替差損益・純額			1,156		△ 2,666	3,822	
持分証券に関する損益・純額			2,667		△ 14,225	16,892	
その他損益・純額			4,589		△ 2,264	6,853	
		1.6	9,402	△ 3.0	△ 18,683	28,085	-
税金等調整前四半期純利益		11.6	68,998	8.9	55,734	13,264	23.8
法人税等		1.4	8,093	2.4	15,324	△ 7,231	△ 47.2
持分法による投資損益		0.1	537	△ 0.1	△ 199	736	-
四半期純利益		10.3	61,442	6.4	40,211	21,231	52.8
控除:非支配持分帰属損益		△ 0.3	△ 1,929	△ 0.7	△ 4,653	2,724	△ 58.5
当社株主帰属四半期純利益		10.0	59,513	5.7	35,558	23,955	67.4

(四半期連結包括利益計算書)

【第3四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間	2019年3月期第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日	自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日	
四半期純利益		133,451	114,388	19,063
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		△ 7	△ 3	△ 4
為替換算調整額		△ 16,809	1,860	△ 18,669
年金負債調整額		3,425	3,844	△ 419
デリバティブ未実現損益変動額		292	111	181
合計		△ 13,099	5,812	△ 18,911
四半期包括利益		120,352	120,200	152
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		△ 8,830	△ 13,335	4,505
当社株主帰属四半期包括利益		111,522	106,865	4,657

【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結会計期間	2019年3月期第3四半期 連結会計期間	増減 (△は減少)
		自 2019年10月 1日 至 2019年12月31日	自 2018年10月 1日 至 2018年12月31日	
四半期純利益		61,442	40,211	21,231
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		4	△ 6	10
為替換算調整額		33,797	△ 28,601	62,398
年金負債調整額		1,040	1,254	△ 214
デリバティブ未実現損益変動額		157	△ 121	278
合計		34,998	△ 27,474	62,472
四半期包括利益		96,440	12,737	83,703
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		△ 2,563	△ 2,748	185
当社株主帰属四半期包括利益		93,877	9,989	83,888

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間	2019年3月期第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日	自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		133,451	114,388	19,063
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		91,812	95,572	△ 3,760
(2) 持分証券に関する損益		△ 1,990	5,437	△ 7,427
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		1,360	5,584	△ 4,224
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		43,462	20,254	23,208
棚卸資産の増加		△ 38,151	△ 41,201	3,050
営業債務の増加・減少(△)		6,521	△ 5,960	12,481
未払法人税等及びその他負債の減少		△ 18,363	△ 85,218	66,855
(5) その他		△ 55,704	34,705	△ 90,409
小計		28,947	29,173	△ 226
営業活動によるキャッシュ・フロー		162,398	143,561	18,837
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 64,763	△ 47,099	△ 17,664
2. ソフトウェアの購入		△ 15,152	△ 13,696	△ 1,456
3. 投資有価証券の売却・満期償還		104	2,347	△ 2,243
4. 投資有価証券の購入		△ 1,850	△ 12,260	10,410
5. 定期預金の増加(純額)		△ 2,039	△ 3,942	1,903
6. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加		△ 1,001	△ 3,539	2,538
7. 事業の買収		△ 105,904	△ 84,310	△ 21,594
(買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)				
8. その他		△ 11,797	3,101	△ 14,898
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 202,402	△ 159,398	△ 43,004
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		50,096	100,036	△ 49,940
2. 長期債務の返済額		△ 62,040	△ 1,143	△ 60,897
3. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の減少(純額)		△ 1,254	△ 7,285	6,031
4. 満期日が3ヵ月超の短期債務による調達額		150,000	-	150,000
5. 親会社による配当金支払額		△ 35,817	△ 33,166	△ 2,651
6. 非支配持分への配当金支払額		△ 9,796	△ 7,752	△ 2,044
7. 自己株式の取得(純額)		△ 15	△ 75,403	75,388
8. 非支配持分との資本取引その他		△ 241,125	△ 78,413	△ 162,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 149,951	△ 103,126	△ 46,825
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		△ 7,269	351	△ 7,620
V. 現金及び現金同等物純減少		△ 197,224	△ 118,612	△ 78,612
VI. 現金及び現金同等物期首残高		654,747	768,246	△ 113,499
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		457,523	649,634	△ 192,111

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1) 第3四半期連結累計期間

① 事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間		2019年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日		自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージングソリューション :							
外部顧客に対するもの		15.4	266,164	16.9	303,833	△ 37,669	△ 12.4
セグメント間取引			1,738		1,623	115	-
計			267,902		305,456	△ 37,554	△ 12.3
ヘルスケア&マテリアルズソリューション :							
外部顧客に対するもの		42.9	741,170	42.1	758,854	△ 17,684	△ 2.3
セグメント間取引			1,345		1,118	227	-
計			742,515		759,972	△ 17,457	△ 2.3
ドキュメントソリューション :							
外部顧客に対するもの		41.7	721,063	41.0	737,129	△ 16,066	△ 2.2
セグメント間取引			9,777		6,272	3,505	-
計			730,840		743,401	△ 12,561	△ 1.7
セグメント間取引消去			△ 12,860		△ 9,013	△ 3,847	-
連結 合計		100.0	1,728,397	100.0	1,799,816	△ 71,419	△ 4.0

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間		2019年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日		自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
イメージングソリューション		10.2	27,431	15.7	47,977	△ 20,546	△ 42.8
ヘルスケア&マテリアルズソリューション		9.5	70,818	9.2	70,018	800	1.1
ドキュメントソリューション		11.0	80,469	9.0	66,915	13,554	20.3
計			178,718		184,910	△ 6,192	△ 3.3
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 27,083		△ 26,563	△ 520	-
連結 合計		8.8	151,635	8.8	158,347	△ 6,712	△ 4.2

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション : メディカルシステム機材、化粧品・サプリメント、医薬品、バイオ医薬品製造開発受託、再生医療製品、化成品、グラフィックシステム機材、インクジェット機材、ディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等
- ドキュメントソリューション : デジタル複合機、パブリッシングシステム、ドキュメントマネジメントソフトウェア及び関連ソリューション・サービス等

②所在地別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間		2019年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日		自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
日本 :							
外部顧客に対するもの		48.7	842,415	47.7	859,397	△ 16,982	△ 2.0
セグメント間取引			337,052		379,282	△ 42,230	-
計			1,179,467		1,238,679	△ 59,212	△ 4.8
米州 :							
外部顧客に対するもの		18.6	321,231	19.3	347,307	△ 26,076	△ 7.5
セグメント間取引			39,036		38,912	124	-
計			360,267		386,219	△ 25,952	△ 6.7
欧州 :							
外部顧客に対するもの		10.4	179,989	10.3	184,674	△ 4,685	△ 2.5
セグメント間取引			12,316		14,157	△ 1,841	-
計			192,305		198,831	△ 6,526	△ 3.3
アジア及びその他 :							
外部顧客に対するもの		22.3	384,762	22.7	408,438	△ 23,676	△ 5.8
セグメント間取引			186,387		219,909	△ 33,522	-
計			571,149		628,347	△ 57,198	△ 9.1
セグメント間取引消去			△ 574,791		△ 652,260	77,469	-
連結 合計		100.0	1,728,397	100.0	1,799,816	△ 71,419	△ 4.0

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間		2019年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日		自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
日本		7.3	86,366	7.2	89,181	△ 2,815	△ 3.2
米州		3.6	13,135	4.1	15,860	△ 2,725	△ 17.2
欧州		1.8	3,399	4.2	8,393	△ 4,994	△ 59.5
アジア及びその他		8.7	49,407	8.5	53,130	△ 3,723	△ 7.0
セグメント間取引消去			△ 672		△ 8,217	7,545	-
連結 合計		8.8	151,635	8.8	158,347	△ 6,712	△ 4.2

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日		2019年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		42.3	730,461	40.3	724,660	5,801	0.8
海外 :							
米州		18.6	322,901	19.6	353,699	△ 30,798	△ 8.7
欧州		13.1	225,921	13.2	237,154	△ 11,233	△ 4.7
アジア及びその他		26.0	449,114	26.9	484,303	△ 35,189	△ 7.3
計		57.7	997,936	59.7	1,075,156	△ 77,220	△ 7.2
連結 合計		100.0	1,728,397	100.0	1,799,816	△ 71,419	△ 4.0

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

2) 第3四半期連結会計期間(3ヶ月)

【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2019年10月 1日 至 2019年12月31日		2019年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2018年10月 1日 至 2018年12月31日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージング ソリューション		18.8	112,094	20.4	127,921	△ 15,827	△ 12.4
ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション		41.7	248,425	41.4	259,793	△ 11,368	△ 4.4
ドキュメント ソリューション		39.5	235,744	38.2	239,359	△ 3,615	△ 1.5
連結 合計		100.0	596,263	100.0	627,073	△ 30,810	△ 4.9

(注)各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション : メディカルシステム機材、化粧品・サプリメント、医薬品、バイオ医薬品製造開発受託、再生医療製品、化成品、グラフィックシステム機材、インクジェット機材、ディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等

ドキュメント ソリューション : デジタル複合機、パブリッシングシステム、ドキュメントマネジメントソフトウェア及び関連ソリューション・サービス等

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2019年10月 1日 至 2019年12月31日		2019年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2018年10月 1日 至 2018年12月31日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		40.0	238,532	38.9	243,873	△ 5,341	△ 2.2
海外 :							
米州		20.0	119,064	21.3	133,675	△ 14,611	△ 10.9
欧州		14.4	86,070	13.8	86,763	△ 693	△ 0.8
アジア及びその他		25.6	152,597	26.0	162,762	△ 10,165	△ 6.2
計		60.0	357,731	61.1	383,200	△ 25,469	△ 6.6
連結 合計		100.0	596,263	100.0	627,073	△ 30,810	△ 4.9

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。